

「ビーチクラフト研修」実施要領

国立江田島青少年交流の家

1 内容

本所施設に隣接する荒代海岸で採集した漂着物を活用して、クラフト作品を制作する。

○個人またはグループでオリジナル作品をつくる。



2 ねらい

漂着物を活用した創作活動を行うことを通して、

- ・想像力や表現力を養う。
- ・海と人のくらしのつながりや廃棄物の問題、物の価値等について考える。

3 対象者

小学校第4学年以上。ただし、保護者又は責任の持てる引率者と活動する場合は第3学年以下でも可能。

4 人数

最大50人（他団体と活動が重複する場合は調整する。）

4～5人で班を構成し活動する。

※9人以上で実施可。



5 実施場所、実施時期、研修時間

- (1) 実施場所 クラフト室
- (2) 実施時期 5月～11月
- (3) 研修時間 9時00分～16時30分の間

6 準備物

(1) 個人

準備	<input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 飲み物 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 雑巾 <input type="checkbox"/> ビーチコーミングで採集した漂着物等
必要に応じて	<input type="checkbox"/> バインダー <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> バケツ等

(2) 引率者

準備	<input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> その他、活動に必要なと思われる物 <input type="checkbox"/> 救急バッグ（貸出可）
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 交流の家

準備	<input type="checkbox"/> ザル <input type="checkbox"/> たらい等	
活動時に使用する物	クラフト	<input type="checkbox"/> ボンド <input type="checkbox"/> ホットボンド <input type="checkbox"/> ペンチ <input type="checkbox"/> ハサミ <input type="checkbox"/> 雑巾（貸出可）
片付け時に使用する物	<input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> 雑巾 <input type="checkbox"/> 掃除用具（クラフト室）	

※貸出物品を紛失・破損した場合は実費負担の弁償となる。



例 マテガイの殻

7 指導・安全管理

(1) 指導者の配置・人数・役割分担

団体は次の役割を担う。(小規模の団体は担当を兼ねることができる。)

- ① 総括責任者(全体の総括・指導)…1人
*実際の引率指導に当たっている団長(学校長、教頭、学年主任等)
- ② 指導担当者(用具の準備・後始末の指示、指導及び安全管理)…1人以上
*事故があった場合対応する引率者
- ③ 救護担当者(健康観察・応急処置・AED設置場所の確認)…1人以上

(2) 事故発生時の措置

- ① 総括責任者: 事故の状況を把握し、交流の家に連絡をする。
- ② 指導担当者: 事故現場付近に速やかに行き、事故対応する。
- ③ 救護担当: 応急処置を行う。

事故発生の連絡が交流の家にあった場合、所長は複数の職員を現場に派遣し、事故対応、応急処置に加わらせる。

8 展開

(1) 団体は、物品利用希望書に必要事項を記入し、入所日の10日前までに交流の家へ提出をする。

(2) 研修生をクラフト室に移動させる。(ビーチコーミング後の場合は、漂着物等を持って移動する。)
(指導担当者)

- ① 交流の家(事務室)から必要に応じて、救急セット(1)を受け取る。
- ② クラフト室で班毎(4~5人)に机につく。

(3) 事前指導

(指導担当者)

目的及び活動の留意点を説明する。

(4) 活動の実際

(指導担当者)

- ① 漂着物にどんな物(持ち込みの場合は、どんな物を持参したか)があったか、確認する。
- ② 班毎(あるいは、個人で)に、何を作るか考えさせる。
- ③ 使用物品を貸し出す(ボンドやホットボンド、ペンチ、ハサミ等)。
- ④ クラフト活動を行う。
- ⑤ 作成したクラフトを紹介しあう。
ア 題名と使用した漂着物(または持参物)を紹介する。
イ 感想を交流する。
ウ 各班から感想を発表させ、全体で交流する。
- ⑥ まとめをする。

(5) 活動後

(指導担当者)

- ① クラフト室の清掃をする。
- ② 使用した物を元の場所に戻す。
- ③ 持参した物品は必ず持ち帰らせる。

(6) 鍵の返却

(指導担当者)

研修終了を交流の家(事務室)に報告するとともに、クラフト室の鍵を返却する。



9 連絡先

江田島青少年交流の家

電話番号

0823-42-0660 (代表)

0823-42-0661 (プログラム代表)